

ZENGUNKYO通信

先生たちの労働組合 全群馬教職員組合

1年半ぶり♪

「生き生き教育講座」を開催しました

コロナ以降、開催を見合わせてきましたが、5月14日（土）、1年半ぶりに「生き生き教育講座」を開催することができました。



採用から3年間 中学校で勤務し、今年是小学校に異動して元気に勤務している若手組合員の高橋さんが、実際に教師になってみて感じた「楽しいこと」や「嬉しいこと」、「ちょっと変じゃない?」と思ったことなどを率直に語ってくれました。

例えば席替えをするとき、「なぜ席替えをするのか」「どうやって席替えをするのか」などをクラスのみみんなでじっくり話し合った実践について話してくれました。「みんなで決めて、みんなで守る」という民主主義の一番大切なことを子どもたちに伝える、とても大切な実践だと思います。

また指導の名の下、子どもたちの「人格を支配」するような教育の在り方への違和感についても語ってくれました。

参加者の感想（一部抜粋）

久しぶりに研修のようなものに参加できて嬉しく思いました。簡単に作ったり、遊べたりする教材もただで、特別支援学級や別室登校の子と一緒に遊びたいと思います。

私自身も新任のときに「困った子は困っている子なんだよ」とベテランの先生から言われ、学ばせて頂いたことがあります。

違和感の話、特に刺さりました。つい忙しさの中で人権感覚が麻痺していた所をしっかりと考えなくてはと考えさせられました。

ベテラン組合員の宇敷さんは、手作りおもちゃをたくさん提供してくれました。学校では毎日「ICT、ICT」と言われますが、時には逆行してみると、「教育の根っこはこういう所にあるんだなあ」と新鮮な気づきがあります。「自分はどのように先生になりたかったのか」を思い出し、気持ちを新たにした半日でした。

全群馬教職員組合（全群教）

〒371-0854 前橋市大渡町 1-10-7

公社総合ビル 5階 ☎ 027-210-7630



ホームページ

5月11日（水）、全群教役員と平田郁美 群馬県教育長との懇談会を行いました。

全群教からは、田中光則（執行委員長）と重野勝美（書記長）の2名が参加、県教委側からは学校人事課長と総務課次長が同席しました。

最大の問題である教員の未配置、多忙化や燃え尽き症候群、教員不足の要因にもなっている部活問題など、学校現場が抱える問題について率直に伝え、意見交換を行いました。

若者が「先生になりたい」と思えないような労働環境で、よい教育ができるはずがありません。

全群教はこれからも、率直な意見を群馬県教育委員会に届けていきます。

